奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

NO.1184 平成 25 年 05 月 07 日

◆例会日/週火曜日　12:30～13:30　◆例会場/小諸市鶴巻　音羽
◆事務局/〒384-0025　長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
TEL 0267-23-8125　FAX 0267-23-2788

2012-2013 役員
◆会　　長 / 黒澤　明男　◆副　会　長 / 小林　秋生
◆幹　　事 / 西川　宏　◆ｸﾗﾌﾞ広報･情報委員長 / 橋詰　希望

◆点鐘　　黒澤　明男　会長
◆SAA　　小山　盛夫　委員
◆ｿﾝｸﾞ　　君が代　　誕生日の歌
◆ｹﾞｽﾄ　　山岸喜昭様
（長野県議会議員）

【会長挨拶】 黒澤　明男　会長

関西と関東の嗜好の違いについて話させていただきます。関西人と関東人の違いは言葉、性格、経済観念など様々ありますが、料理の味についても大きな違いがあります。関西の年取り魚はブリだが、関東は鮭、関西の寿司は箱鮨だが、関東は握り寿司、関西の雑煮は白味噌で丸餅、関東はすまし仕立てで角餅。ただそこには、伝統的な好みの違いというのもあります。関西と関東の嗜好の違いとして有名なものに、うどん･そばのつゆがあります。

関西は、澄んだ薄い色のつゆが主流で、関東では醤油色の濃いつゆが主流です。味もかなり違い、関西はダシの味が良く利いていて、醤油は軽く香るくらいのつゆに仕上げます。

それに対して関東では、醤油味がはっきりしていて、ダシの香りもするけれど醤油の香りが全面にくるつゆに仕上げます。

おでんにも同じような傾向があって、昔から関西のおでんは浅い味付けで素材の食感や持ち味が失われないよう作るのに対し、関東はじっくり味を染みこませ、濃厚な味わいにします。

こうした好みの違いから、インスタントラーメンなどでも、関東で売っているものと関西で売っているものとでは、同じ商品でも味付けを変えてあったりします。

日清のインスタントうどん「どん兵衛」では、原材料の表示のあたりに、小さく「E」「W」という表示が入っているので、見分けがつきます。「E」は EAST、「W」は WEST の頭文字です。「E」は粉末スープの袋が青色で、汁の味は鰹だしをベースにした濃口醤油仕立て、「W」は粉末スープの袋が赤色で、汁の味は昆布だしをベースにした薄口醤油仕立て、こんな細かい配慮がされています。うどんの汁の濃い、薄いもありますが東西のどこを境にしているのか大変気になります。大阪と名古屋の中間に位置する滋賀県と三重県のコンビニでは「E」と「W」の両方が販売されているそうです。会員の皆様も滋賀県、三重県に行った時、是非確認して私に教えてください。東洋水産のインスタントうどん「赤いきつね」も同様だそうです。

また、売れ筋商品も、例えばインスタント焼きそばなら、醤油文化の関東では、醤油風味のきいたペヤングが割高であるにもかかわらず根強い人気を誇っているのに対し、ソース文化の関西では、ペヤングはほとんど姿を見ず、ウスターソースの香りが強い UFO が圧倒的に人気だったりします。でも、今では本当に昔かたぎの「コテコテの関西人」とか「生粋の江戸っ子」なんて人は随分減っていますし、関西人でもじっくり味の染みたおでんが好きな人もいれば、関東人でも醤油あっさりで出汁メインのうどんだしを好む人もいますし、もはや好みも多様化しているので、今となっては十把ひとからげにくくるのは 難しい話ではないでしょうか。

【幹事報告】 西川　宏　幹事

1. RI日本事務局より
ロータリーレート変更について
5 月より1ドル＝98 円（現行 94 円）に変更

2. ガールスカウト第 17 団より
入団式について
日時　5 月 12 日（日）10:30～11:30
場所　小諸市乙女湖文化センター2F

3.　例会変更

千曲川RC

5 月 15 日（水）環境保全事業実施例会の為
定刻受付あり

上田西RC

5 月 29 日（水）創立 35 周年例会の為
定刻受付なし

6 月 5 日（水）定款による休会　　定刻受付あり

6 月 26 日（水）夜間例会の為　　定刻受付あり

4.　週報

上田、上田東RC

・例会終了後現及び次期合同理事会
・来週 5 月 14 日（火）は 5 月 15 日（水）
合同夜間例会のため休会です。

本日の配布物

夜間例会（クラブ協議会）案内。

◆誕生日祝

小山　盛夫会員　　S12. 05. 08
両川　栄会員　　S09. 05. 03
西川　宏会員　　S19. 05. 03
清水　良英会員　　S32.05.13

◆結婚記念日祝

神津　恭通会員　　元子夫人　　S37.05.10
両川　栄会員　　まさ子夫人　S35. 05.03
渡辺　英世会員　　一美夫人　　S　.05.15

◆ラッキー賞

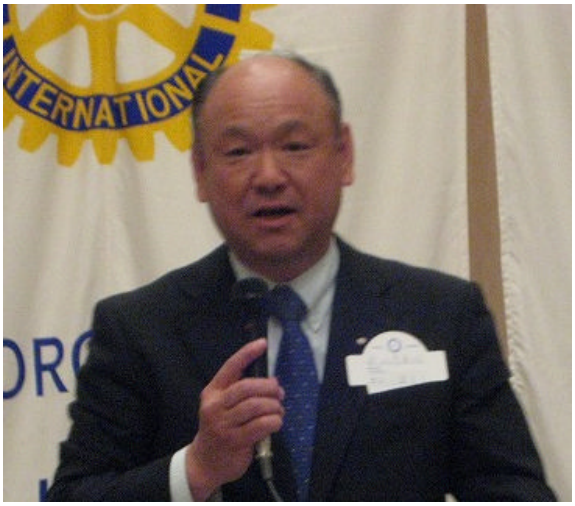
NO.19　矢島　英夫　君

【本日のプログラム】

「H25、ロータリークラブ県政報告会」

◆ニコ BOX　清水　泰男　委員

山岸喜昭様	本日は宜しくお願いします。
黒澤明男君	若林会員のお宅に伺って来ました。声が多少細くなっただけで大変元気でした。なるべく早く復帰したいとのことで、会員の皆様によろしくお伝え下さいとのメッセージを預かってまいりました。
小池平一郎君	4月22日きれいなお花を戴きました。4月29日虚子こもろ全国俳句大会が盛大に催されました。
神津恭通君	結婚記念日お祝いをいただける様で有難うございます。
小林秋生君	山岸県議さん、こんにちは。今日は卓話のゲストでようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。
小山盛夫君	恒例でありました「浅間山の山開き」「布引のお祭」「真楽寺のお祭り」好い日に誕生しました。
清水泰男君	“ニコ”よろしくお願いします。
清水良英君	誕生祝ありがとうございました。
中河邦忠君	仲間ハズレにならない為
西川宏君	5/3で69歳になりました。まだまだ努力します。
両川栄君	記念日を祝っていただき、ありがとう御座います。
矢島英夫君	ラッキー賞ありがとうございました。山岸さんに引いて頂き、何か良いことがありそうな気がします。



長野県議会議員　　山岸　喜昭様

県政報告をさせていただきます。
早くも2年が経過し、折り返しになりました。お陰様で、いくつかの事業や、提案をさせて頂いているところでございます。
国政も、自民党に政権が変わりまして、安倍政権の経済対策「アベノミクス」に取り組まれています。

１．金融緩和
２．公共事業、財政（インフラ、点検、補修、など公共投資）
３．産業、健康、環境、農林など成長戦略の具体化。
「これが3本の矢」でありまして、大規模な公共事業がうちだされて、円安株高の景気回復が図られようとしています。
まあ、明るい雰囲気は出ていますが、実態にはなかなか結びついてはいかない、のが現状でありまして、特に地方への浸透はいつ頃になるのか、難しい情勢であります。
長野県に置きましては、阿部知事も、２年半が過ぎ、いよいよ評価される時が来ています。
２月県会におきまして、平成２５年度の予算執行が決定しました。
また、県の総合5ヶ年計画が策定されました。
総合計画は、これからの５年先の信州を描き、進む方向性であります。
基本テーマに、「確かな暮らしが、営まれる美しい信州」を掲げまして、「しあわせ信州」に向かっていきましょう。という取り組みであります。
知事も、「県のやっていることが、県民に伝わらなければ意味がない」「結果にこだわりを持つ」ということで、職員にも意識の徹底をしているところであります。
私も、県の方向や取り組みについて、この様な場で、しっかりと説明していく事が大事と思っております。
ここに、掲げています、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」そんな信州を目指していきましょう、という取り組みであります。
私たちが目指す「未来の信州」の姿
１．世界に貢献する信州
世界をリードする先端産業、世界に通用する高品質の農林産物の開発です。
２．豊かなライフスタイルを実現する信州、
心の潤う信州暮らしをめざし、人生の感動と出会い、自然界からのおすそ分けをいただきながら、快適な暮らしをしましょう。
３．誰にでも居場所と出番がある信州
１人ひとりの自己実現、子育て応援先進県、認め合う、支えあう社会を目指していきます。
４．健康長寿世界一の信州
生涯にわたる健康づくりや、生き甲斐のある元気な暮らし
そして、健康長寿を支える保健、医療の充実した信州を目指していきます。
５．一人一人の力を引き出す教育県信州
人間力を養う、信州教育の再生を目指していきます。
教育に関しては、特に課題が多いわけであります。教員の資質、いじめ、自殺、体罰など、議会では必ず、多くの議員が質問をし、話題が絶えない問題であります。ここで、伊藤教育長、桜井教育委員長が新しく就任しました。信州教育の再生、教育県信州を目指していきます。
なかなか、明るいニュースが届かない中でありますが、信州は、長寿県全国1位になりました。特に小諸佐久地域においては長寿地域であります。健康で、長寿で世界一を目指していきましょう。
そして、昨年、日本総合研究所の調査によりますと、「日本で、一番いい県、住みたい県、行ってみたい県、都道府県ランキング」の総合ランキングでは、東京を抜いて、全国一位になり、高い評価を受けています。すなわち、信州は、国内外の人たちが憧れる、真の豊かさがある県であります。これからも「しあわせ信州」に向かって、しっかりと取り組んでまいります。

この辺、知事もしっかりとPRしているところであります。
議員としまして、これまでの定例議会においては、毎回一般質問をさせていただいています。
今年度の、質問の中から、何点か報告したいと思います。
先ず、小諸にも関係あります、農業大学校の在り方について質問いたしました。
松代にある、県農業大学校は、今年で100年を数えます。生徒募集は、2年制、総合農学科が60名、果樹、畜産など研修生、1年制が100名募集していますが、入学率は、6割ほどであります。しかも、卒業しても就農する卒業生は、3割ほどしかありません。
なかなか、農業の後継者が、育たないのが実情でありまして、将来の、日本の農業の担い手不足が、心配されています。
小諸にあります、研修部について伺いました。
研修部は、昭和　6年7月に開設され、82年の歴史ある「長野県立農事講習所実習農場」であり、これまでに多くの農業自営者を養成してきました。
この研修部のある農場については、地元の皆さんが、東信地域はもとより、長野県の農業振興に活用してほしいとの、熱い思いを込めて、貴重な土地を提供した、という経緯もありまして、地元は、県農業大学校研修部に対しての、思い入れや期待は非常に大きいものであります。
研修部は、長野県に移住して、農業に親しみたいという、都市部の皆さんが「農業の基本を知る場」としての、一定の役割も必要かもしれませんが、農業経営の夢をかなえる、やる気がある、長野県の農業の将来を担う「新規就農者の研修の場」として、地元が誇れる、夢をかなえる施設として、発展させることが重要であると思います。
その方向性と、今後の体制の整備について？農政部長にお聞きしました。
結果、松代の生徒の研修所として、大いに活用していきます。
そして、移住、就農者の研修の受け入れ、大型特殊車の免許取得の会場、として大いに活用をして行くという、回答を頂きました。
是非とも、地元に目に見える、近代農業を目指しての、活用を願いたいものです。
また、9月の議会での質問は、今、話題になっています、山岳入山料、協力金についてであります。
信州は、4つの国立公園を有し、日本の屋根とも呼ばれ、3000m級の山々に囲まれた、全国随一の山岳観光県であり、雄大な山岳景観の魅力は、昨年は約64万人の、国内外からの、多くの登山者を引き付けております。
私は、この信州の山岳地区の環境や、安全を守る活動資金として入山料か協力金の徴収をするべき、と知事へ質問をしました。
それは、長野県は山岳観光県であって、観光客誘客を図り、登山道整備や、環境に配慮した、トイレの設置などに充てる為に、入山料を導入して、活用すべきである、と言うことであります。
先ず、登山道の整備につきましては、貴重な高山植物等の、保全を守る事から、ある程度、定期的な整備が必要でありますが、登山道のほとんどが、道路管理者が決まっていないのが現状であります。
登山道を外れて、高山植物を踏み荒らしたり、高山チョウなど乱獲が後を絶ちません。
山の保全管理は、大変コストがかかり、管理責任の問題が生じる為に、市町村では、なかなか受け入れないのが現状でありまして、今はどこの登山道も、地元の遭体協や、山小屋の皆さん、観光協会等が、ボランティアで担っているのが現実であります。

トイレにつきましては、環境省の補助事業の活用や、県単独の補助事業などにより、導入を進めてきました。
県内、約160ヵ所以上の山小屋トイレの約7割が、環境に配慮したトイレに改善されてきましたが、この登山ブームによりまして、トイレの個数が、足りないのが現状であります。
登山者の増加に伴いまして、登山道の荒廃や山岳環境の悪化など山岳を取り巻く環境は、大きく変わってきています。
登山客の増加に伴って、多発する遭難も課題の一つでありまして、2012年の発生件数は、県内で254件と過去最多の件数です。
登山者の増加と共に、事故、救助件数も増加しておりまして、小諸市の浅間山の場合では、昨年は、4月から10月までに、救助件数が6件あり、事故原因は、中高年の、転倒による骨折などが多く、昨年は、登山途中で倒れて、自然学校スタッフがAEDでの対応して、そして、ヘリ搬送しましたが、心肺停止で死亡という事故がありました。
浅間地区には、昨年は、県警ヘリ、防災ヘリが4回出動しています。
今日の新聞にも掲載されていますが、この連休だけでも、県内で27件あり、全国1位の山岳遭難が発生して、県警のヘリが毎日出動しています
そして、連休中の遭難者34人の内、9割の30人は、県外者で占めています。
こういった、救助活動は、遭体協や、民間団体に依頼すれば費用が発生しますが、県警ヘリ、ドクターヘリや防災ヘリ、警察、消防署など、他の人件費など、この経費は長野県税で賄われて、遭難者からの経費はいただいておりません。
山岳の救助費用は、長野県民の税金であります。
遭難した登山者が負担しないのは、おかしいことであります。
参考までに、
ヘリ出動は大体1回で50～150万円、
県警ヘリ「やまびこ」で1時間846，000円
防災ヘリ「アルプス」で1時間869，000円
捜索費用は、出動人員によりますが、150～300万円かかると言われています。
この様に、山の自然は、国民の共有財産であり、維持管理するには費用がかかるので、山岳利用者は、何らかの負担をすべきと思います。
山岳を利用する旅行者や登山者の、入山料については、登山道整備やトイレの整備、設置、環境整備に活用する為に、徴収するべきであります。
登山者は、山岳保険に加入を、義務付ける事であり、ケガや事故に備えるべきであります。
入山料、協力金について、皆さんは、どう考えるでしょうか？
{阿部知事}答弁は、山岳資源を守り、登山道やトイレなどの施設機能を高めるのは重要なテーマで、利用者の応分負担は、検討する必要があると答弁しまして、山岳観光振興、環境保全、森林保全などの観点から、県地方税制研究会で検討したい。として、県が検討作業を始めています。
富士山は、先日、世界文化遺産がほぼ決まるようであります。
7，8月で、30万人という登山者が訪れます。世界遺産が決まると登山者はもっと増加し、トイレ、ごみなど山が荒れることが予想され、入山料がこの夏から試験導入される方向で、準備を進めています。
しかし、徴収方法や、金額など多くの課題があります。
富士山は、登山口が限られているから、徴収は可能でありますが、ただ、富士山は、夜から登山をするのでどうするのか？検討です。

信州の場合は、山岳がいくつもあり、隣接県からなど、登山口がいくつもある為に、徴収方法が課題であります。
ちなみに、アフリカのキリマンジェロなど、人気山岳は入山料を徴収しており、ネパールの国立公園内のヒマラヤトレッキングの入山料は、約￥５，０００程であり、エベレストは、ルートや人員によりますが、一人１２０万円とも言われています。
入山料は、長野県がリードして、近隣隣接県と、山岳観光地を持つ、自治体共通の課題として、足並みをそろえて取り組んでいく、そんな展開がいいと思います。
次に、受動喫煙の防止について先進国で、たばこ規制の最も遅れた日本にあって、長野県は、健康長寿日本一でもあり、県民の健康を守るという立場で、更に国内や海外からも、多くの観光客を迎える本県としては、受動喫煙防止施策の推進にあたり、「規制」も視野に入れ、検討すべき時が来ている、本当に「おいしい、きれいな空気の信州」をアピールするのであれば、不完全な分煙を認めない、全面禁煙を前提とした、１歩進んだ「規制」の観点も必要であ事を提案しました。
さて、小諸につきましては、いよいよ大型事業が進んでまいりました。コンパクトシティの、実現に向けて取り組んでいくときでもあります。
他の市町村では、「核」となる施設等が、次々と郊外へ移転され、街の中心性が失われています。 街の「核」が失われたところには、いくら「街づくり」を仕掛けても、人は戻ってきません。
幸い、小諸は、市庁舎・小諸厚生病院と会議所会館等、中心の「核」が、再構築される訳であります。
魅力ある、「コンパクトシティづくり」には、大規模な財政が必要であります。必ず成功させるよう、努力いたします。
コンパクトシティとは、都市機能が集積して、高齢者社会に対応した、歩いて暮らせる街づくりと言うことであります。
しかし、建物ができただけでは活性につながりません。小諸においては、周辺郊外と連携をしつつ、公共交通網の体系の整備をし、低炭素化を図り、そして、この豊かな、自然環境を活用する視点から、自然エネルギーであります、太陽光、風力、水力、バイオなど、また、地域資源の森林資源、公園を活用する取り組み、そして、歴史や文化、観光資源を活かすことが、活性につながる訳であります。あらゆる可能性に挑戦して、今、未来へ動き出し、未来への街づくりをする時であります。
私は、環境モデル都市を目指す事が、これからの小諸にとって、活性の要素と考えています。地域の、知恵と力と資源が街を強くします。
これからが大事な時であります。
交流人口、定住人口やＩターン・Ｕターンが増えるよう取り組んでまいります。今後とも御支援、御指導宜しくお願い申し上げ、
ロータリークラブの益々の御発展を、御祈念いたしまして、報告会といたします。

5月14日（火）合同夜間例会の為休会　5月15日（水）合同夜間例会・ゴルフ

【出席報告】 湯本　敏晴　委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本　日　5 月 07 日	24	21	事前（0）		87.50%
前々回　4 月 16 日	24	22	事後（0）		修正　91.67%